

⑫ 公開特許公報(A) 平4-79920

⑤ Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)3月13日

A 47 K 3/22
F 21 S 3/107150-2D
7913-3K

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑭ 発明の名称 照明付シャワーシステム

⑯ 特 願 平2-194315

⑰ 出 願 平2(1990)7月23日

⑱ 発 明 者 辻 伊 津 子 東京都港区虎ノ門1丁目1番28号 東陶機器株式会社東京支社内

⑲ 出 願 人 東陶機器株式会社 福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 下田 容一郎 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

照明付シャワーシステム

2. 特許請求の範囲

(1) 立設された支柱の先端部に照明ランプとシャワー金具を併設したことを特徴とする照明付シャワーシステム。

(2) 前記支柱は昇降可能であることを特徴とする請求項(1)に記載の照明付シャワーシステム。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、照明の付いたシャワーシステムに関する。

(従来技術)

学校や公共施設等で屋外にプールを設置する場合、プール際の一面にシャワーを設け、プールに入る前後に身体を洗ったり、冷たい水に身体を慣らすようにしている。又、プールを夜間でも使用できる様にするため、プールの周辺にプールに向けて照明設備を設けるところもある。

(発明が解決しようとする課題)

しかしながらこのような従来のプールにあっては、照明設備はプールに向けて泳ぎ易くするためのものなので、プール際の一面にあるシャワーの周辺は比較的薄暗い場所になっており、シャワーは使い勝手の悪いものになっている。

(課題を解決するための手段)

上記課題を解決するために本発明は、立設された支柱の先端部に照明ランプとシャワー金具を併設した。

又、支柱は昇降可能に形成した。

(作用)

上記手段によれば、照明ランプによりシャワー周辺及び利用する人が照明され、又、この照明ランプとシャワー金具を併設した支柱をプールの周辺に設けることによりプールも照明される。

(実施例)

次に本発明の実施例を添付した図面により説明する。

第1図は本発明の照明付シャワーシステムを適

用したプールの斜視図、第2図はこの照明付シャワーシステムの斜視図、第3図は同じく側断面図である。

図で1はプールを示し、プール1は建物3の外に設けられ、建物3の出入口5を介して連絡されている。又、プール1の周囲にはデッキ7が設けられている。このデッキ7のプール1側には休憩用のベンチ9が設けられ、又、デッキ7の出入口5に近い場所には本発明の照明付シャワーシステム11が3基設けられている。

照明付シャワーシステム11の支柱13は、デッキ7に立設され、図示せざる操作機構（手動、又は、電動）によって昇降自在に設けられている。これにより利用者の身長に合わせ、子供でも自由にシャワーを使用できるようになっている。支柱13の先端部には、プール1の方向に向けた円筒状のケーシング15の基部が所定の角度で固定されている。ケーシング15の下部には開口部17が設けられ、この開口部17を臨んでシャワー金具19が収納、固定されている。シャワー金具1

9には、支柱13内に配管され、図示せざる給水管、又は、給湯管に連結された可撓性のチューブ21が接続されている。

又、ケーシング15の先端部には照明ランプ23が設けられ、透光性のカバー25で覆われている。照明ランプ23には、ケーシング15及び支柱13内に配線され、図示せざる電源に接続された電線27が接続されている。これにより1本の支柱13がシャワー金具19と照明ランプ23の供用となるので、部材の節約となり、延いては施工費の節約につながる。又、デッキ7を十分に取れない場合には、シャワーと照明が別の設備に比べて場所を取らず、スペースを広く使える。

尚、電線27は十分に防水処置を施して配線する。

この照明付シャワーシステムによれば、出入口5を出て先ずシャワー金具19から水、又は、湯温の湯水を出し、身体を洗うとともにプール1の水温に慣らし、次いで軽い柔軟体操をしてプール1に入る。泳いだ後再びシャワーを浴びて身体を洗

う。この時夜間であれば、照明ランプ23を点灯し、十分な明るさの下でシャワーを浴びることができる。又、3つの照明ランプ23は、シャワーを浴びる人を照すと共に、プール1も照すので、泳ぎ易くなる。

第4図は本発明の別実施例を示し、3つの支柱13及びケーシング15を間隔をおいて補強材31及び33で連結し、より縦丈に立設したものである。

（発明の効果）

以上詳述した様に本発明によれば、従来薄暗い場所にあったシャワー周辺が明るくなって、使い勝手が良くなった。又、支柱供用でシャワー金具と照明ランプを設けたので、部品の節約になり、施工費を削減することができる。

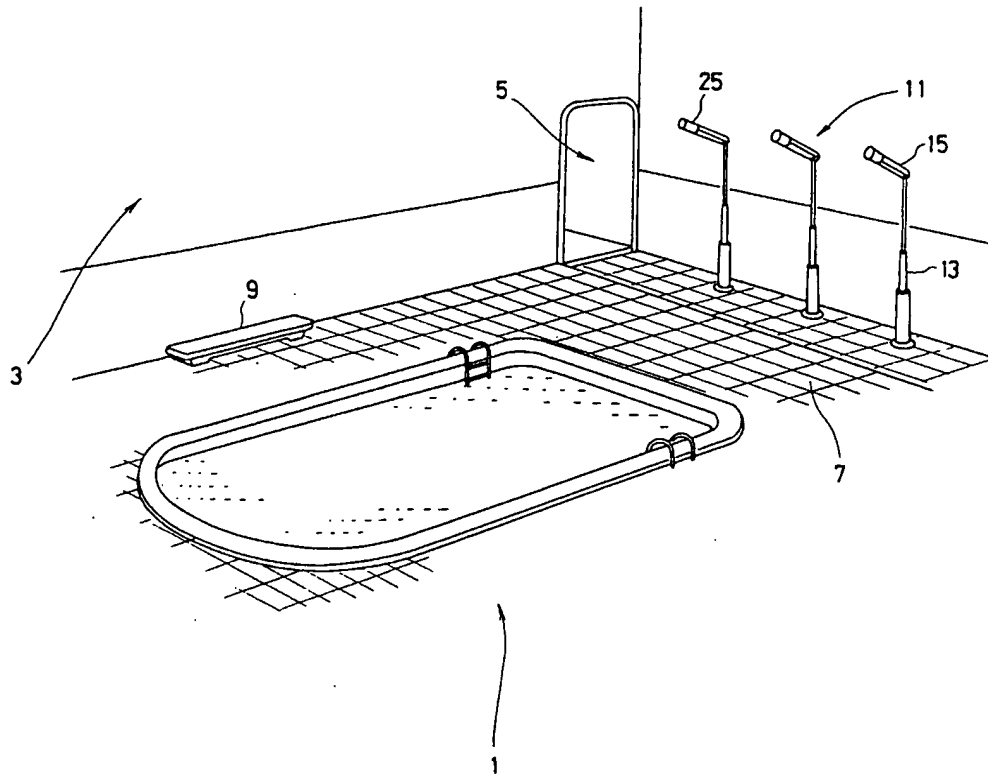
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の照明付シャワーシステムを適用したプールの斜視図、第2図はこの照明付シャワーシステムの斜視図、第3図は同じく側断面図、第4図は別実施例の斜視図である。

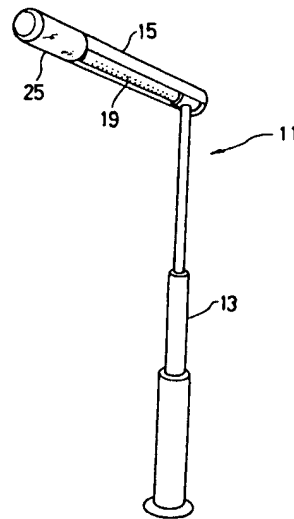
尚、図面で1は照明付シャワーシステム、13は支柱、19はシャワー金具、23は照明ランプである。

特 許 出 願 人	東陶機器株式会社
代 理 人	下 田 容一郎
同	大 橋 邦 彦
同	小 山 有

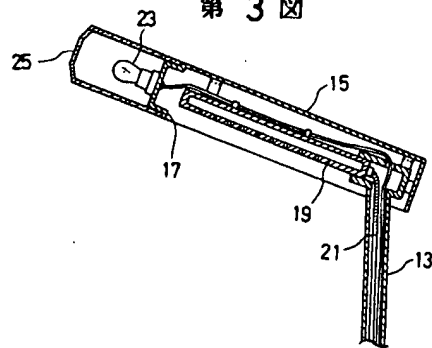
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

